

平成29年度新刊『書Ⅰ 306』検討の観点と内容の特色

項目	内容の特色
<p>観点</p>	<p>内容の特色</p>
<p>内容の選択・程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ●基礎的、基本的事項の理解やその習得のため、適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書道の基礎的な能力を伸ばし、創造的な表現と感性豊かな鑑賞の能力を育むことができるよう、表現と鑑賞の関連を図りながら各領域が適切に構成されている。 ●口絵において、漢字が世界に類を見ない歴史の長い文字であることを知るなど、生徒がこれから始まる書の学習に対し意欲的に取り組めるよう配慮されている。 ●導入部である書への「いざなひ」では、中学書写の内容の確認と書道の学習の意義や展望、学習の根幹となる用具、用材の知識や姿勢・執筆法が、コンパクトでありながらも「いねい」にまとめられている。 ●「漢字の書」では、各時代を代表する基本的な古典が、書風や技法の偏りなく取り上げられている。また、書道Ⅱで主に学習する篆書・隸書・草書についても、身の回りで見られる書を導入にし、各書体の特徴や現代における意義について理解できるように配慮されている。 ●「仮名の書」では、用具・用材の知識や基本的な技法から、平安時代の典型的な古筆による学習が、効率よくスムーズに進められるよう単元構成が工夫されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、自己の意図や感興をもとに、表現の構想を具体化できるように単元構成が工夫されている。
<p>組織・配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように配慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●導入は、中学書写の学習の確認と高校書道の学習を概観する内容で構成されており、生徒が見通しを立てて書道Ⅰの学習に取り組めるように配慮されている。 ●「漢字の書」「仮名の書」では、書体の変遷や成立の歴史から、用筆や運筆、字形の取り方などの基礎、基本を押さえたうえで、系統的・段階的に配列された、各時代を代表する基本的な古典の臨書や鑑賞を行い、創作へと展開できるように単元構成が工夫されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、漢字と仮名の調和した表現を目指し、ことばと書表現の関係を意識しながら、古典や名筆を参考にしたり、用具・用材の扱い方や紙面構成を工夫するなど、幅広い学習が展開できるように配慮されている。 ●書道Ⅰの学習で学んだことを生活に生かす観点から、「篆刻・刻字」「生活の中の書」についても、実践的に学習できるように配慮されている。
<p>表記・表現及び使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ●用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ●解説の表現は、生徒にとってわかりやすく簡潔であり、難解な語句や覚えたい用語にはふりがなを付したり、巻末に「書道用語集」を設けるなどして学習効果を上げる配慮がされている。 ●書の伝統と文化を理解しやすくするため、他教科の内容と関連させながら学習する「コラム」を随所に設けている。 ●各領域冒頭のとびらやフルカラーの作品図版は、高精細で臨場感にあふれ、書の魅力や古典の美しさを伝えるための配慮がされている。 ●領域ごとに区別された色づかいやデザイン、読みやすい文字の大きさと書体に配慮するなど、視覚的に理解しやすくする工夫がされている。
<p>印刷・造本上の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ●印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カラーユニバーサルデザインにも配慮し、古典の美しさが際立ち、文字が読みやすく、内容を理解しやすいレイアウトデザインが工夫されている。 ●机上で効率よく教科書と書道の用具・用材を配置できるよう、強度がありながらも半分に折り畳みやすい製本方式を採用し、教室の蛍光灯の映り込みや反射の少ない用紙に印刷している。
<p>総合所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上記観点から見た、全体的・総合的な教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の三分野とも、書道Ⅰの学習に必要な学習材が、系統的・段階的にバランスよく取り上げられている。 ●大きな判型を生かした迫力ある紙面、鮮明で美しい図版、活用しやすい折込ページ配置により、表現と鑑賞両面からの学習が充実して展開できるように工夫されている。 ●造本において、再生紙や植物油インキを使用することで、環境への配慮がされている。